

資料4 「コモン・メーター」

作成 2026-9-25 岡本雅幸

空白の 100 年間 ～素朴な疑問

ところで、作詞・初出版(1740年)から曲付け(1839年)までの100年間、この詩はどんなメロディーで歌われていたのでしょうか？ しかも、「理性を欠いた危険な熱狂主義であり、礼拝の秩序を乱すもの」として厳しい批判と妨害に曝されるほどにまで、街頭や野外・刑務所などで、社会の底辺にいた人々が一つ思いになって喜びを爆発させた程のメロディーとは。

実は、定まったメロディーは無かった

C.ウェスレーは原詩を、讃美歌の伝統的詩型である「コモン・メーター」という「使い回しが利く共通の構造、規格」で書いたので、同じメーターを持つメロディーに載せて自由に歌えたのです。ですからウェスレー兄弟は、その時々集会に相応しいメロディーを選択して歌ったことで、会衆は一体となって音楽的・霊的熱狂と批判されるほどの「歌いやすさ」と「救いの喜びを歌う喜び」を味わったのです。

因みに、コモン・メーターを持つ代表曲「アメイジンググレイス」のメロディーでも歌ってみて下さい。

コモン・メーター (Common Meter / 略記: C.M.) とは

「使い回しが利く共通の規格」との意で、英語の讃美歌や詩で最も広く使われている伝統的な定型詩の形式(詩型)です。日本の伝統的詩歌における「七五調」のような、決まった音節のパターンのひとつです。

1. 構成と音節数(4行1連)

4行でひとつのまとまり(節)を構成します。それぞれの行の音節の数は「8・6・8・6」の交代で並びます。

- ・第1行: 8音節
- ・第2行: 6音節
- ・第3行: 8音節
- ・第4行: 6音節

2. 韻律(弱強格)

リズムは基本的に、軽い音(弱)と強い音(強)が交互に繰り返されます。8音節の行では弱強が4回、6音節の行では弱強が3回繰り返されます。

3. 韻の踏み方

一般的には2行目と4行目で韻を踏み(abcb)、1行目と3行目でも韻を踏む構成(abab)もあります。

コモン・メーターの起源と歴史

コモン・メーターの起源は、中世のヨーロッパ(特にイギリスやスコットランド)で歌われていた民俗バラッド(物語歌)の詩型にあります。カルヴァン派の信仰がイギリスやスコットランド、アメリカなどの英語圏に伝わって以降、会衆全員が讃美歌を歌えることを目指したプロテスタントの指導者たちが、もともと庶民の間で親しまれていた世俗的な歌の形式を讃美歌に取り入れたのです。

この詩形が英国国教会の韻律訳詩編歌でも多用された結果、「一定の音節数やアクセントの規則(メーター)」を持たないヘブライ語の詩「詩篇」を英語で歌えるようになりました。

以上